

## スペシャルオリンピックス日本 「2021 年度地区競技会推進支援制度」概要

### 1. 本制度の趣旨と2021 年の特例措置

本制度は、各地区において日常トレーニングの成果の発表の場である競技会の開催を推進することを目的として、2006年度よりスタートしました。支援対象となる競技会の実施およびその内容の充実が、スペシャルオリンピックスの理念やルールの理解の促進につながり、さらには日常トレーニングプログラムの充実につながることを目指し、競技会開催に必要な支援金を交付する制度です。

例年、ブロック競技会・大会を対象に支援を行っていましたが、2021年度はコロナ禍におけるスポーツイベントの再開を目的とし、特例措置として、地区組織主催の競技会に加え記録会等にも対象を広げ、感染予防等の経費として地区組織に広くご活用いただきたく、総額120万円の助成をさせていただきます。

なお、コロナ禍が続く中で競技会再開支援となりますので、SONでは慎重を期して、県をまたいでの参加や人数的なリスクを伴うブロック競技会・大会の開催は推奨しないこととし、ブロック競技会・大会についての申請は、対象外とさせていただきますのでご理解の程お願い致します。

### 2. 選考基準

2021 年度地区競技会推進支援制度(以下、本制度)の支援金の対象となる競技会／記録会は、以下の基準を満たす必要があります。

#### 1) 必須条件(一部、2021 年特例措置適用)

##### a. 競技会構成

『スペシャルオリンピックス競技会開催ガイドライン』に則っていること。また、以下が考慮されていること。

◎ 参 加 資 格	●年齢	8 歳以上とする。ただし、6 歳以上 8 歳未満のアスリートの参加については、競技中の安全面に十分に配慮し、アスリートがルールや参加の仕方について理解の上、準備ができていのかどうか各地区で十分に判断する。
	●スポーツ プログラム	SON の各地区組織が提供するスポーツプログラムに参加していること。 参加競技は、参加スポーツプログラムと同一とする。
	●トレーニング 期間と参加 回数	直近で 8 週以上の期間に 8 回以上の参加が望ましい。ただし、各地区の活動状況およびアスリートの状況等から、困難な場合も考えられるため、各地区組織で最終的に判断するものとする。
◎競技会	開会式、競技、表彰式、閉会式によって構成し、ディビジョニングを実施する。	
◎競技	SON が認める公式または準公式競技であること。複数競技を実施し、より多くのアスリートが集う大会にすることを推奨する。	
◎対象期間	2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日に実施される競技会とする。	
◎競技会名称	SON 地区／ブロック競技会・大会 開催規程に則っている。	
◎主催	地区組織	
◎概要	競技会・記録会の概要(趣旨、大まかな日程・会場、適用ルール等)が決定されている。	
◎運営	必要なスタッフ・ボランティア数が計画に含まれている。	
◎特例条件	2021 年の特例条件として、記録会も対象とする。	

## b. 安全対策・危機管理

以下のような参加者、関係者への安全対策・危機管理が配慮されていること。

◎担当者	安全・危機管理の担当者が配置されている。
◎保険	競技会参加者は、スポーツ安全保険(もしくはボランティア行事事用保険)、またコーチ・ボランティアは、ボランティア保険に加入する。
◎服装・持ち物	安全に留意し、トレーニングの成果を最大限に発揮できるよう、競技中の服装・持ち物についての決まりごとがある。
◎準備運動	競技を始める前に、十分に体を動かすよう時間をとっている。また、準備運動の場所を確保している。
◎緊急時の対応	競技会中の突発的な病気、怪我などが発生した場合の緊急時の対応(警察・消防・病院への連絡・搬送経路等)について、準備がされている。
◎新型コロナウイルス感染予防対策	競技会・記録会をする際は、必ず新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの作成をすること。

## c. 申請期限厳守

2021年7月末日の締め切りを厳守する。締切日以降の申請は受け付けませんのでご注意ください。

## 2) 考慮条件

以下の条件は支援額等、助成を決定する上で考慮されます。

- ◎ 大会規模(参加アスリート数、ボランティア数、実施競技数等)
- ◎ 新型コロナウイルス感染予防対策

\*「実行委員会」による競技会の運営を推奨しています。

実行委員会は、運営責任者である実行委員長を中心に、実行委員が各委員会(競技運営、会場運営、広報、式典、表彰、資金調達、医療、警備など)に分かれて役割分担をした上で大会を運営します。ただし、地区の状況によりこのような運営が困難な場合も考えられるため、運営体制については各地区組織で判断するものとします。

## 3) 支援対象とならない競技会

以下の競技会は本制度の対象とはなりません。

- ◎ 他団体・機関主催の競技会・大会

## 3. 支援金額および支援金の使途

### ■ 競技会・記録会の新型コロナウイルス感染予防対策費

- ・ 1地区、最低15,000円を基本とし、大会規模(申請地区参加者人数)などを加味し、支援金額を決定する。

※金額根拠例:100人(アスリート・役員)規模競技会 2日間開催		
使い捨てマスク	300枚(予備含む)	1,900円
消毒液(手ピカジェル)	10本(出入口、競技ゾーン5か所)	9,600円
非接触式体温計	3本(入口1か所)	3,500円

- ・ 競技会、記録会への支援金総額(上限)は、申請地区数にかかわらず120万円となります。

## 1) 支援対象外

- ◎ 申請された競技会以外で使用されるもの。ただし、今後の競技会でも使用できるものについてはその限りではない。
- ◎ 下記の支援対象以外の物

## 2) 支援対象

### ・ 新型コロナウイルス感染予防物品

- ◎ 消毒液
- ◎ マスク・フェイスフィールド
- ◎ 体温計
- ◎ パーテーション
- ◎ 手袋
- ◎ その他(新型コロナウイルス感染予防用品)

## 4. 支援金対象地区へのお願い

支援金交付が決定された地区については、以下をお願いいたします。

### 1) 大会書類及び広報物への団体名掲載と実施報告書および収支報告書の提出

(報告書等の書式は別途送付の規定のものを使用)

支援金の受領地区は支援事業の終了後、原則 2 ヶ月以内に実施報告書および収支報告書を Dropbox「地区競技会支援制度提出フォルダー」へ格納ください。格納した際は必ず SON 事務局担当へメールにてご一報ください。また、支援金の受領地区事務局は、適正に処理された帳簿および帳簿書類を、最低 1 年間は保管するようにお願いいたします。

#### a. 後援欄への団体名掲載について

◎「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」の名称を、競技会・大会開催概要や同プログラム等の「後援」欄に必ず明記してください。

#### b. 実施報告書

大会概要の報告となり、以下を含みます。

- ◎ 実施日時、場所
- ◎ 大会規模、参加者数
- ◎ 競技会・記録会の成果
- ◎ 今後に向けての反省点や課題、感想
- ◎ 本制度への要望など

#### c. 収支報告書

- ◎ 使用経費、内訳の決算報告

## 2) 支援金の返還について

支援後に次のことが明らかになった場合は、支援金の全額、または一部を返還していただく場合があります。

- ◎ 申請した競技会を該当年度内に実施しなかった場合  
\* 次年度にそのまま支援金を繰り越すことはできません。実施しなかった場合は、原則返還していただきます。
- ◎ 適切な事情・理由がなく、支援金が用途対象外の目的で使用された場合
- ◎ 適切な事情・理由がなく、申請時の予算書と精算書の経費額に明らかに大きな差が認められた場合
- ◎ 適切な事情・理由がなく、申請時の計画と実施内容に著しい変更が認められた場合
- ◎ 実施報告書および収支報告書の申告内訳記載が不十分であり、再提出依頼後も明確にならなかった場合
- ◎ 実施報告書および収支報告書の提出や依頼事項を怠った場合
- ◎ その他 SON より確認した事項について明確な回答が得られなかった場合

#### ※支援金の剰余額処理について

支援金交付額が『3. 支援金額および支援金の使途』の『2) 支援対象』に記載されている経費に充当された後、支援金に余りが生じた場合は、その剰余金は返還対象となります。返還の手続きについては、競技会の実施報告書が提出された後、別途 SON 窓口より対象地区へご連絡いたします。

## **5. 問い合わせ先**

お間違いのないよう下記メールアドレスにお送り下さい。

スペシャルオリンピックス日本事務局(業務推進部 競技会・プログラム推進課 担当 関)

E-mail: **son\_program@son.or.jp**